

前奏 黙想	祈 禱
讃美歌 55 今日はひかりを	讃美歌 418 ころろに自由と
祈 禱	献 金
信仰告白 使徒信条 566	讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書 コヘレトの言葉 1:9~10	黙 禱
マタイによる福音書 5:7~9	主の祈り 564
讃美歌 302 み神の風をば	頌 栄 539 あめつちこぞりて
説 教 『神の子の一人として』	祝 禱 後 奏

「かつてあったことは、これからもあり、かつて起こったことは、これからも起る。太陽の下、新しいものは何ひとつない(コヘレト 1:9)」。「かつてあったこと」とは飢餓や豊穡を生じさせる環境の変化か。または戦争や王朝崩壊といった大規模な社会変革か。「見よ、これこそ新しい、と言ってみても、それもまた永遠の昔からあり、この時代の前にもあった(1:10)」。「永遠の昔」は誇張表現だが、言い回しからしてこれは人為的なものであろう。「見よ、これこそ新しい」ものに人は期待し、希望をいだく。しかしよく見れば「前の時代」にもあったし、「太陽の下、新しいものは何ひとつない」という幻滅。

現代のように情報とモノ・カネが激しく行き交う時代に、まさかロシアとウクライナが戦争し、背後で経済大国がここまで加担するとは想像できなかった。まさしく「かつて起こったことは、これからも起る(1:9)」のか。日本も再び天皇制を奉る宗教国家になるのだろうか。政治イデオロギーはともかくとして、自衛隊は防衛装備だけでなく仮想敵国(中国・北朝鮮)へミサイルを撃ち込む攻撃力を準備している。「これこそ新しい、と言ってみても～この時代の前にもあった(1:10)」悲壮な現実なのか。

イエスは山上の説教の冒頭で弟子たちに語った。「平和を実現する人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる(マタイ 5:9)」。当時「平和を実現する神の子」として実際に思い浮ぶのは、「Pax Romana/ローマの平和」を掲げ、「神の子」と呼ばわれた皇帝。イスラエルもローマ帝国に支配された「平和」の内であった。沖縄の嘉手刈林昌は歌う。「唐ぬ世(ゆう)から大和ぬ世、大和ぬ世からアメリカ世、ひるまさ変たる此(く)ぬウチナー」。かつてあった平和、今は「Pax Americana」か。

帝国内に戦争がなく皇帝が神の子と讃えられたのは、圧倒的な軍事支配による。そんな「世(ゆう)」にあってイエスは弟子たちに告げる。「幸いだ、平和をつくる者たち(5:9)」。「神の子である君たちが、平和をつくるのだよ」。光輝くローマ皇帝と、ガリラヤの貧しい漁師。イエスはあえて、この二者を対比させて語っているのではないか。貧しく力なき弟子を「神の子」として平和のために遣わす。当然、軍事や政治や経済による平和であろうはずがない。では実際、力なき者に何をせよと言うのか。

「憐れみ深い人々は、幸いである。その人たちは憐れみを受ける(5:7)」。「憐れみ」は愛によるものであり、まさに神の御心そのもの。憐れみは分かち合わせ、「憐れみを受ける」ことにもなる。ささやかな分かち合いが(14:19)周囲に広がって、五千人以上の者が満腹したように(14:20~21)、憐れみという神の御心は、広大な帝国の領域をも超えて広がっていった。憐れみと平和は不規則に連鎖していく。

「心の清い人々は、幸いである。その人たちは神を見る(5:8)」。「憐れみ」を手渡し、そして「受ける」ことで、私たちは清められ(聖め)、この心身に神の御心を帯びる。「神を見ながら(5:8)」私たちは平和を実現していく(5:9)。平和活動に貢献しているから「神の子(5:9)」なのではない。憐れみを分かち合い、聖められ、キリストに満たされている(コサイ 2:9~10)所が、神の子と呼ばれる(マタイ 5:9)ゆえん。

「唐ぬ世(ゆう)から大和ぬ世、大和ぬ世からアメリカ世」になるごとく「かつて起こったことは、これからも起る(コヘレト 1:9)」だろう。そんな中、神の子は、神の国の到来、平和の完成に仕える(マタイ 5:9)。

8月6日広島原爆の時 大イベントにして平和を祈ることもいいのだが 一人部屋でひっそり祈る神の子は部屋から出る 憐れみを受ける 憐れみを手渡す 堤防のない川で地は自ずと沃野になる 本日礼拝後に役員会。また月に一度の「カレーの日」なので皆さん遠慮なく食べて下さい(無料)。8/11(金祝)1:00~3:00 分区社会部平和集会(勝沼教会)。8月はお休みの集会が多いのでご注意を。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。